

# 営業の概況



## 景気回復が鮮明に

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復を背景とした輸出の増加と国内生産の増加に伴う設備投資に支えられ、景気回復がより鮮明なものとなりました。企業収益も顕著な回復を見せ、大手企業中心から中堅・中小企業へ、製造業から非製造業へと広がりを見せています。また株価の回復に加えて、個人消費や雇用環境にも改善の兆しが見られるなど、明るい材料が増えてきました。

## 企業の情報化投資が本格的に回復

当社グループの属するIT関連業界におきましては、企業の収益改善とブロードバンド環境の進展を背景にe-Japan戦略の具体的進展、セキュリティ対策への関心の高まり、2000年問題対応システムの買い替え需要に加えて、IT投資促進税制等の支援策もあり、パソコンなどコンピュータ関連機器が回復基調となるなど、先延ばしされていた企業の情報化投資が本格的に回復してきました。

## お客様の目線で総合力を活かし、信頼に応える

このような状況の中で当社グループは、「お客様の目線で総合力を活かし、信頼に応える」をスローガンに掲げて、当社グループの持つ総合力を活かした複合システムや関連サービスの提供など、企業の経営改善につながるIT活用の提案に努めました。同時に、「たのめる」<sup>1</sup>「ODS21」<sup>2</sup>「SMILE」<sup>3</sup>などの重点戦略事業に注力し、加えて当社独自開発の顧客管理・営業支援システム「SPR」の活用浸透を図り、提案品質の向上と営業活動の効率化を推進しました。

また、4月よりグループ各社のコーポレートガバナンス強化と当社グループにおけるコンプライアンス徹底によりグループ全体の社会的信用力を高めるために、特別執行役員制度を導入しました。

**SPR** : Sales Process Re-engineering の略称

当社独自開発の CRM + SFA システム  
(顧客管理) (営業支援)

お客様のプロフィールを正確に知る

お客様との取引履歴(過去)を知る

お客様への提案状況(現在)を知る

お客様の要望・ニーズ(未来)を知る



科学的営業でCS向上と効率アップを同時に実現

## 二桁増収、大幅増益で最高益を更新

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,968億64百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

利益面では、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は105億61百万円(前年同期比82.9%増)、経常利益は105億56百万円(前年同期比83.7%増)となりました。また、厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことにより、中間純利益は84億15百万円(前年同期比382.8%増)となり、大幅な増益で中間連結会計期間における最高益を更新しました。

**M R O** : 文具、オフィス生活用品、OAサプライなど間接材の販売事業。

**たのめーる** : MRO事業の中核となるオフィスサプライなどの通信販売事業。

**S M I L E** : 当社オリジナルの統合型基幹業務システム。オフコン時代からの25年にわたる実績を持ち、中堅・中小企業向けのSMILE ADと、大手・中堅企業向けのSMILEieがあります。

**O D S 2 1** : 紙文書をデジタル複写機でデータ化し、他のデジタルデータとの一元管理により情報を共有、活用するナレッジマネジメントシステム。

## 事業セグメント別の概況

### システムインテグレーション事業

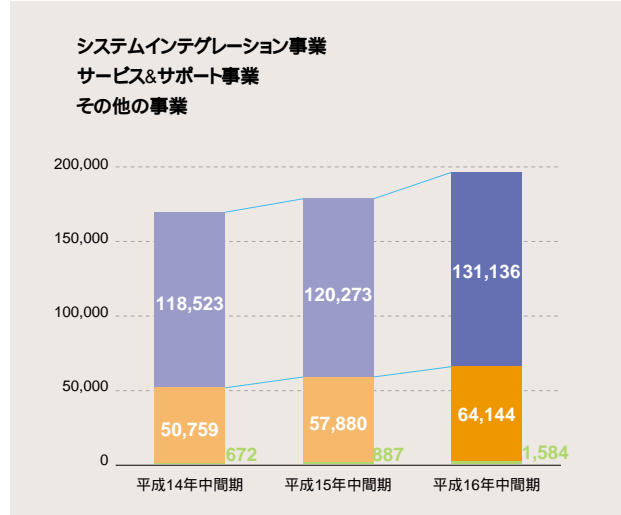
コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、オリジナルのナレッジマネジメントシステム「ODS21」や統合型基幹業務システム「SMILE」に注力した結果、カラー複写機やサーバおよびパッケージソフトの販売が引き続き好調に推移し、売上高は1,311億36百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

### サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、教育などによりシステム導入後をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、Webサイトおよびカタログによるオフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」が好調に推移し、OAサプライを中心に引き続き高伸長を続けたことに加えて、保守等も堅調に推移し、売上高は641億44百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

### 事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)



たのめーるカタログ Vol.12



インターネットたのめーる  
<http://www.tanomaru.com>

### その他の事業

その他の事業では、株式会社富士見建設の属する建設業界は引き続き厳しい状態にありましたが、積極的な営業活動を展開した結果、売上高は15億84百万円(前年同期比78.6%増)となりました。